

令和4年度 英語F 出題の意図

I(A)

飼い主には後ろめたそうに見える犬の表情について、科学的にはどのように分析できるかを説明した一節である。高等学校レベルで学ぶ語句や文法・構文を確実に習得したうえで、意味を的確な日本語で表す力を試すものである。

(B)

人の社会において宗教が担う役割の変遷について述べた文章が題材となっている。本文で使用されている語彙や句の意味を文脈の中で適切に把握する力や同格節、関係節、省略を含む構文といった文法項目の理解力を問うている。

II

「脳による現実の形成」をテーマとする相当な長さの英文を読み、その要点を読み取ることができるかどうかを問う問題である。高等学校で学んだ英語の基礎的な知識を踏まえて、高度な内容の英文を理解するために十分な訓練を積んできたかが試される。英語の読解能力のみならず、明晰な日本語を用いて解答を作成できるかどうかも問われる。

III

機械やAIが人の代わりをすることが増えた現代において、それらが取って代わることができない仕事は何かを適切な例を挙げながら指定された語数の英語で説明できるかどうかを問う問題である。語彙力・構文力に加え英語らしさを備えた英語で明確かつ論理的な文章を書く能力が試される。

IV

「文化の違いを乗り越えるものは何か」について書かれたこなれた日本語を、表現方法（語彙力を含む）、文法的正確性、英語らしさ、全体の構成などに注意を払いながら柔軟に置き換える能力が必要とされる。普段の英語学習において、上記のポイントを押さえた上で実際に英文を書く訓練を十分に行うことが重要である。

V

「ゾウアザラシの生態」についての英文を聞き、その要点が理解できているかどうかを問う問題である。設問で問われている部分の情報を正確に聞き取る力が必要になる。また、解答は日本語で行うため、聞き取った情報を的確な日本語にまとめて表現する能力も求められる。